

新潟日報

2022年(令和4年)
7月5日
火曜日

居場所、つながり 考える 西三川 学校蔵の特別授業



有識者3人が「ココ」について語り合った「学校蔵の特別授業」＝佐渡市西三川

佐渡市西三川の旧西三川小学校を利用した酒蔵「学校蔵」で、オンラインワークショップ「学校蔵の特別授業」が開かれた。「ココと自分のつなぎ方」をテーマに、有識者3人が講義。個人にとっての居場所や、コミュニケーションとの関わり方について語り合った。

学校蔵は、同校の校舎を尾畑酒造(同市真野新町)が借り受け、2014年から活用。特別授業は、「佐渡から考える島国ニッポンの未来」を基本テーマに毎年実施しており、6月26日に開かれた。特別講師として日本総合研究所首席研究員で市総合

戦略アドバイザーの藻谷浩介さん、カナダ観光局日本地区代表の半藤将代さん、京都精華大学前学長のウスビ・サコさんを招き、約150人が受講を申し込んだ。藻谷さんは、特定の場所、人とつながることで特別な「ココ」になることを強調。半藤さんは、カナダの街で出会った現地住民のアイデンティティーなどを紹介した。マリ共和国出身のサコさんは、異文化の視点で見た日本の文化について語りながら、変化を恐れず体験する大切さを訴えた。授業には、地域課題を学ぶ県教育委員会のプロジェクトメンバーの高校生も参加。学校や家、生徒会室など、それぞれの「ココ」を紹介した。尾畑酒造の尾畑留美子専務は「悩みやもやもやを解消するヒントになるといい」と話した。